



なぜ？ねらいは？ 「太陽の塔」を背に自衛隊がパトリオット3の展開訓練

万博記念公園の「太陽の塔」を背に、天空を向くミサイル発射台――。今月10日朝、新聞を開けてのけぞった読者は少なくないのではないだろうか。この日の各紙の朝刊は、前日夜に自衛隊が万博公園で行った地对空誘導弾パトリオット3（PAC3）の展開訓練を写真付きで報じていたからだ。

は、地上から数十キロ上空を飛ぶ弾道ミサイルを打ち落とす能力を持つとされる防空システムだ。各紙の記事によると、訓練には自衛隊員約50人が参加し、車両20台が集結したという。だが、これほど大規模な訓練を地元の吹田市民は全く知らなかった。その夜、何があったのか？訓練取材した記者に聞いた。

日は万博公園の出入り口に自衛隊員が歩哨に立ち、記者が乗ってきたタクシーの運転手にも口止めを求める徹底ぶりだった。**なぜ万博公園で訓練したのか？**

10日夜、万博公園で

何があったのか？

閉園後、航空自衛隊第4高射群白山分屯基地（三重県津市）の所属部隊がPAC3の発射台やレーダーなどをトレーラーで運び込み、実戦さながらに迎撃態

勢をとる訓練をした。一連の訓練のうち午後10時から1時間が在阪メディアに公開された。市民が知らなかったのは、自衛隊が各メディアに、事前報道はむろん、訓練終了後も翌10日午前5時まで報道しないように求めていたからだ。その理由について航空幕僚監部の

万博公園にPAC3

航空自衛隊は9日夜、大阪府吹田市の万博記念公園で、弾道ミサイルを地上から迎撃する地对空誘導弾パトリオット3（PAC3）の展開訓練を行った。

危険な訓練ではなかったのか？

自衛隊側の説明によると、今

集まった記者たちの質問も、そこに集中した。だが、広報担当者の説明は「有事の際に国民の生命・財産を守るため、自衛隊施設外を含めて展開訓練を重ねておく必要がある」といった抽象的な内容にとどまった。自衛隊側は、今回の訓練について「地元自治体の協力を得られたことが大きかった」とも説明した。万博公園を管理しているのは「国」（財務省所管の独立行政法人、日本万国博覧会記念機構）だが、吹田市、大阪府の協力が何より大きかったということだろう。

回はPAC3の発射台やレーダー、管制装置などを車両で運び込み、迎撃態勢をとるまでの手順を隊員に習熟させる訓練で、発射台には実弾は込められず、危険はなかったという。また、あくまで万博公園を訓練地として使っただけで、有事の際の展開候補地としているわけではないと説明していた。

報道関係者に

公開したのはなぜか？

過去3回、自衛隊施設外で行ったPAC3展開訓練のうち、報道陣に公開されたのは初回の新宿御苑の訓練（2010年4月）と今回の2回だ。3年半ぶりの公開は、PAC3の存在を国民に強くアピールしたいとい

うねらいがあったことはあきらかだろう。推測もまじえて言えば、太陽の塔とPAC3の発射台という「絵になる構図」で訓練したのも、宣伝戦略の一環ではないか。

記者の言うとおりであれば、

万博公園でPAC3の訓練が行われたのは、大阪府知事と吹田市長の判断が力ギだったといえる。たとえ危険がないとしても、これほど大がかりな「軍事訓練」が秘密裏に行われることがあってよいのだろうか？吹田市、大阪府には住民への説明責任がある。太陽の塔がPAC3の格好の宣伝に使われたことに、天国の岡本太郎はどんな思いでいるだろうか？

フォーカス focus

おなじみ「太陽の塔」には3つの顔がある。「未来」を示す黄金の顔。「現在」を表す正面胴体の顔。そして、胴体裏側には「過去」を表わす黒い顔。10月9日夜、その黒い顔に重なるように、ミサイル発射機が迎撃体制をとる不気味な姿が暗闇の中でライトアップされ浮かび上がった。

万博記念公園で突如行われた自衛隊・地对空誘導弾「パトリオット3（PAC3）」の展開訓練。東京都以外では初の自衛隊施設外での訓練という。PAC3は、北朝鮮の弾道ミサイル発射などに備えて配備され、緊急性が高い場合は、政府の決定を経ず大臣の命令だけで配備・発射される。

「迎撃」とはいえ戦争にさえつながるミサイル兵器だ。それが、知らないうちにわがまちに配備され、発射訓練をしている。そう考えると、背筋が寒くなる。地元自治体である吹田市には、事前に連絡はあったらしいが、どのように対応したのだろうか。米軍の「オスプレイ訓練を八尾空港に」と言つ維新の会系市長のことだ、協力的であったことは想像に難くない。

市民の半数が、「吹田市に愛着を感じる」として、「万博公園がある」ことを挙げる（2009年吹田市アンケート調査結果。郷土愛の大切なよりどころでもある万博記念公園が軍靴で踏み荒らされ、平和な暮らしが脅かされようとするとき、市長は何をなすべきか。「太陽の塔」風にいえば、「過去」国の出先機関であった地方行政、「現在」は自らの意思と責任をもつ地方自治体、国にはつきり物を言うことができる。まして、「恒久平和は、人類共通の願い」（吹田市非核平和都市宣言「より」と「未来」）を展望する吹田市ならばこそ、物申さなければならぬ。（ともはる）



巨大アウトレットモールができれば、この交差点は大渋滞？

万博公園エキスポランド跡地に巨大ショッピング&エンターテイメント施設!?

目 本一の観覧車に水族館、そして巨大アウトレットモールが吹田に出現。ええやん、早くその観覧車に乗りたいわー、と思ったあなた、ちょっと待ってほしい。事業者である三井不動産株によると、エキスポランド跡地に出現する巨大モールには、なんと年間2000万人もの来客者が見込まれるそう。

エキスポランド全盛の時でさえ、年間150万人。なんとその10倍以上の人が万博を訪れるというのだ。休日は1日6万人が予想され、山田・千里丘地域は週末ごとに大渋滞になるではないか。

「万博の外周道路や中央環状線は、来場者の車でパニック状態になるでしょう。当然、山田旧村の街道や裏道にも車が入ってくるでしょう。救急車や消防車が通れなくなることも予想されます。東京ディズニーランドと同規模の施設ということですので、本当なら鉄道を敷かねばならない事業ですよ」。倉沢恵吹田市議は地域への影響を懸念する。

倉沢市議によると、昨年末、万博でフォークデュオ「コブクロ」がコンサートした時には、駐車場を出るのに2時間、山田榎切山の交差点は夜間にもかかわらず大渋滞に陥ったという。本当にこのような巨大事業が必要なのだろうか？何より地元住民の生活は大丈夫なのだろうか？